

市民ワークショップ(子育て世代) 『五泉市を住みよいまちにするには?』のまとめ

■作成
五泉市企画政策課

■ワークショップの開催概要

目的	「第3次五泉市総合計画」及び「人口ビジョン・総合戦略」の策定にあたり、広く市民の方から意見をお聞きすること。		
日時	令和7年8月9日(土) 10:00~12:00	会場	五泉図書館 会議室1・2
参加者	12名(子育て世代)		
内容	説明	①ワークショップの目的(総合計画と総合戦略) ②現行計画の概要(総合戦略概要) ③五泉の人口動向、市民アンケート結果	
	意見交換	1ラウンド『五泉市の魅力と課題はなに?』 2ラウンド『出産・子育てしやすい五泉にするには?』	



会場全体の様子

■意見交換の結果

現状の五泉市の魅力(強み)と課題(弱み)を4つのテーマ(子ども・未来、産業・活力、資源・魅力、生活環境)ごとに話し合いました。その後、強みを伸ばし、弱みを解消(または活用)し、人口減少の抑制や交流人口の増加につながる具体的な対策・新たな提案を話し合いました。最後に、五泉市の新たな将来像(キャッチフレーズ)を出し合いました。

凡例: ●A班の意見 ◆B班の意見 ■C班の意見

テーマ	第1ラウンド: 五泉市の魅力と課題はなに?		第2ラウンド: 出産・子育てしやすくするには?
	魅力・強み	課題・弱み	対策・提案
子ども・未来	<ul style="list-style-type: none"> ●保育園や学校で自然に触れた学習が多く取り入れられているのは子どもにとって良い環境だ。 ◆育休明けもスムーズに保育園に入れた。 ◆保育園や小学校が少人数なので先生の目が行き届いていて安心。 ◆子どもが川や公園など自然が豊かなところで遊べる。 ◆公園が多く、自然と触れ合える。 ■ラポルテ五泉は冬でも遊べる施設がある。 ■子育て支援センターやラポルテ五泉など子育てしやすい場所が多い。 ■民間が運営する0歳から高齢者まで誰もが集える居場所が新たにオープンした。 ●交通量も多くなく、子どもが外で遊んでいても安心できる。 ■五泉市八幡宮では若者や地域住民に向けた様々なイベントがある。 ◆定期健診やあそび場で同世代の知り合いができる。 ◆子育て支援が充実している。 ◆産休・育休がちゃんと取れた。 ◆高校まで医療費が530円で薬代が無料。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆産科が五泉にないので新津まで行かないといけない。 ■●産院がなく、新潟市まで通わなければならない、不便である。 ◆妊婦さんへのタクシーの補助もあるが、使い勝手が悪い。 ●陣痛タクシーが救急車になり、陣痛では依頼しづらくなった。 ◆待機児童はいないが、タイミングで入園できないこともある。 ◆保育園や小学校の人数が減っている。 ◆下校時に子どもが一人で帰る距離が長く、防犯面で心配。 ●児童館がなく、子どもが遊ぶ場所が少ない。 ■子育て支援センターは年齢制限があり、兄弟で利用ができない。 ■学童の職員によっては、現場でのルールが違うことがある。 ●子どもの交流できる場、特に同年代の子と関われる場が少ない。 ◆室内遊びの場が少なく、ラポルテ五泉はいつも混んでいる。 ◆夏や冬に子どもが思いっきり走り回れる室内のあそび場がない。 ◆ラポルテ五泉に行き過ぎたので、最近は市外に遊びに行っている。 ◆小学生が遊べる場がない。ラポルテ五泉は小学生は遊びにくい。 ■ラポルテ五泉は定員オーバーになることもある。 ■子どもが少なく、スポーツ大会や行事が実施しづらい。 ■子育て施策に関する情報発信が少なく、わかりにくい。 ■イベントや災害など届いてほしい人に情報が届いていない。 ■不審者情報が翌日に届くことがあり、当日情報発信が必要。 ■二人の子どもを育てており、市内の各種情報を受け取りづらい。 ◆電車やバスが少なく、高校の通学の利便性が悪い。 ◆若者が減り、子どもを産む人が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●妊娠や出産時に安心できる環境として総合病院の中に産科を設置する。 ■五泉中央病院が診療科を増やし、総合病院のような役割を担う。 ■五泉中央病院の小児科の先生を常勤とする。 ◆産科の誘致。 ◆保育園が広いことや待機児童ゼロ、少人数制など教育に対するPRの強化。 ●小学生が遊べる施設が少ないので、支援センターの利用を可能にする。 ◆通学バスの範囲を広げる。 ■学童クラブの見直しをするため、利用者に意見を聞く機会を設ける。 ◆学校によってプールの有無や広さ、老朽度など差が出ないように予算拡充。 ◆市の体育館を冷房完備にし、子どもに無料で解放する。 ●子どもの交流が生まれるようなイベントを市がもっと企画する。 ●寺小屋の利用の仕方をもう少し検討する余地はありそうだ。 ◆鮭の稚魚の放流や田植え体験など五泉ならではの事業をPRする。 ◆出産人数に応じて奨学金やローン、税が免除になるような施策の検討。 ◆キャリアアップ制度など出産したお母さんへ還元できる施策の検討。 ◆道の駅 阿賀の里 あがりーなのような室内で遊べる施設をつくる。 ◆室内プールがほしい。 ■空き家を活用し、小さな子どもが兄弟で利用できる居場所をつくる。 ■既存のSNSを上手く活用した詳細情報の掲載、情報発信をする。 ■共通ハッシュタグ #五泉イベントを作り、市民にも使ってもらおう。 ■法人、個人、行政問わず、自由にイベント情報を発信できる仕組みづくり。 ■色んな人が宣伝できる掲示板づくり、公式LINEやホームページの活用。

意見交換の結果（つづき）

凡例：●A班の意見 ◆B班の意見 ■C班の意見

テーマ	魅力・強み	課題・弱み	対策・提案
産業・活力	<ul style="list-style-type: none"> ◆米、芋、野菜など農業が盛ん、新鮮で美味しい。 ◆里芋が有名で美味しい。 ■ニット産地として生産に携わる人が多い。 ■飲食や雑貨、ボルダリングなど個人の面白いお店が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内の求人が少ない。 ◆美味しい食べ物は多いが、農業の後継者がいない。 ◆働く場がなく、新潟市や長岡市に就職する人が多い。 ◆五泉ニットは有名だが、買う機会がない。 ◆五泉ニットの良さが伝わっていない若者も多い。 ◆学校やプールなどの公共施設が老朽化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆医療や交通などには不便を感じていない、子どものために税金を使う。 ◆大手企業を誘致し、市内での働き口の拡充や移住者を増やす。 ◆ラポルテ五泉や市役所を使って、産業マルシェをする。 ◆SNS、ラジオやテレビで農業をPRする。
資源・魅力	<ul style="list-style-type: none"> ■自然が豊か。 ●少し移動すれば、近場の自然と触れ合える。 ●山や川が側にあり、アウトドア派には魅力だ。 ◆水道水が美味しい。 ◆水や食物など子どもに関わるものが安心安全。 ◆花に力を入れている。 ◆自然が多く住みやすい。 ■水が綺麗。 ■子どもたちを連れて川遊びができる。 ◆村松の桜が綺麗。 ◆花火や花のイベントなど、イベントが多い。 ■里芋やれんこん、旬の野菜が美味しい。 ●ラポルテ五泉で家族で遊べる。 ■個人が運営するイベントがたくさんある。 ●三十路式があり、若者が集まるきっかけがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然が近場にあるが、車を利用しないと行くことができない。 ●レジャー用の大きな公園はあるが、団地内に地域で交流できるような小規模な公園がない。 ●遊具がたくさんある公園がないので、子どもがすぐに遊びに飽きてしまう。 ●ラポルテ五泉で開催されるイベントのように幅広い世代が利用できる集客場所が少ない。  <p>A班意見交換の様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●きれいな川を利用して、魚を釣り焼いて食べるなどのイベントを行い、野外の交流の場にしたり集客に繋げる。 ●山側を利用して自然と触れ合えるアスレチック公園ができれば、市内の遊び場も増え、集客にも繋がる。 ◆自然が多いので、YOU遊ランドのようなアスレチック施設をつくる。 ●五泉市に市外の人を呼び込むために五泉の自然を体験できる施設をつくる。 ●市外からも人がくるような児童館や大きな遊具がある公園をつくる。  <p>B班意見交換の様子</p>
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆災害が少ない。 ●スーパーには美味しい地場産野菜が出回っていて食が豊か。 ■スーパー、コンビニ、生活用品店などが多く、市内で買い物の用事を済ませることができる。 ■市内のスーパーはどのお店にも地場産野菜コーナーがある。 ◆新潟市へのアクセスが良い。 ◆道が広くて運転しやすい。 ◆車さえあれば生活しやすい。 ●交通が不便な分、徒歩や自転車で移動するので大人も子どもも体力増進に繋がっている。 ■スポーツ施設が多い。 ◆ある程度の工夫で不便なく生活できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大きな総合病院が少ないので医療体制を整えてほしい。 ■専門の病院が少なく、選択肢がない。新津まで通っている。 ●新しい店舗がすぐに閉店してしまう。店舗数も減っている。 ●市外に行かないと子どもが好むファミリーレストランがない。 ◆学校やプールなどの公共施設が老朽化している。 ■屋根付き屋外プールがあるが、近年の暑さでは利用しづらくなっている。施設の老朽化も見られ、小さい子どもを連れていくことができない。 ●家庭の車の保有台数が少ないと、家族が車を使用してしまうと足がなくなってしまう。車がないと不便。 ◆新潟市へのアクセスが良く、仕事や子育てで出ていく人もいる。 ◆歩道のない道が多く、危ない。 ◆空家が多く、道が狭くなったり、防犯面でも危ない。  <p>こどもスペースの様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域交流のため、団地内に公園を設置してほしい。 ●閉店した店舗を、地域の遊び場として利活用し、地域交流を活性化させる。  <p>C班意見交換の様子</p>  <p>結結果発表の様子</p>
その他		<ul style="list-style-type: none"> ●五泉市の話になった時に地元の魅力、強みが少ないせいなのか話が盛り上がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■まちづくりや育児に関する意見を伝えられる窓口を定期的に設ける。予約不要で行きやすくする。 ■今回のような市民ワークショップでは子育て世代を対象にするのであれば、専門員による託児を用意し、チラシに明記する。

五泉市の新たな将来像 (キャッチフレーズ)

- 子どもから触れたい五泉ニット、桜がきれいな五泉市
- ◆ウェルビーイング、農業を推進できるようなキャッチコピーが良い、移住のPRになるようなキャッチコピー、あつまれ五泉
- 花と水と子育てのまち五泉、1人1人が主役！活気ある五泉、人が面白い五泉、いいところだて！好きです五泉